

鷹取山自然観察会会報

2024. 3. 10 NO. 43

鷹取山蝶類について — 2023年調査 —

2023年4月から11月までの8か月間に行った蝶類調査の結果を報告します。2014年6月に会員により月1度の蝶類調査を始めてから10年目になります。蝶は種ごとに違った食草をもち、気候など環境の違いによってもすみ分けをしています。このため、地域の環境を評価するために蝶はよい指標となっています。

これまでの調査結果については、2014年の結果は会報7号、2015年の結果は会報11号、2016年の結果は会報15号、2017年の結果は会報19号、2018年の結果は会報23号、2019年の結果は会報27号、2020年の結果は会報31号、2021年の結果は会報35号、2022年の結果は会報39号に掲載されています。

三浦半島は三方を海に囲まれ黒潮の影響を受けるため、暖地性の蝶が多く分布しています。横須賀市自然・人文博物館の報告書(横須賀市博物館研究報告(自然科学)第60号)によれば、三浦半島では84種の蝶が記録されています。このうち、普通にみられる健在種は34種、近年減少または絶滅に迫いやられている減少種は27種、温暖化などで増加傾向にある増加種は7種、単発的に記録される偶産種は8種、外来種は8種となっています。

2023年の蝶類調査は、引き続き環境省「モニタリングサイト1000里地調査」に登録して行いました。調査結果は国の方にも報告し、全国状況の把握に資することになります。

1. 調査方法

調査は環境省自然環境局及び日本自然保護協会における「モニタリングサイト1000里地調査マニュアル」に沿って、4月から毎月2回行いました。調査ルートは植物相調査のコースで行い、植生の違う6区間に分け調査しました(会報12号植物相調査ルート(図1と表1)を参照)。調査頻度は月2回、原則として第1及び第3金曜日に行い、調査ルートを歩きながら、目視で判別できる種は記録し、シジミチョウ科、シロチョウ科、タテハチョウ科など同定

が難しい種については捕虫網で捕獲し、図鑑により確認し、記録しました。

2. 調査結果

2023年は、15回のチョウ類調査を行いました。調査日によっては気象条件などにより出現する数に違いがありました。

調査区間の結果から見てみると、A区間は鷹取山公園内で草地の他、クヌギ、コナラの落葉樹とシイなど照葉樹もある区間です。草地にはキタキチョウ、ヤマトシジミ、ツマグロヒョウモンなどが見られました。また、樹林内ではコムスジ、アカボシゴマダラ、モンキアゲハ、ヒメウラナミジャノメなどが観察されました。B区間は住宅地及び児童公園があり、アゲハの仲間やモンシロチョウ、ツマグロヒョウモンなどが見られました。C区間はシイ、カシなどの常緑樹の木々が多く、ここではヒカゲチョウやジャノメチョウの仲間が観察されました。D区間はコナラ、オオシマザクラなどの落葉樹が多い場所であり、アゲハの仲間、コムスジ、サトキマダラヒカゲ、ダイミョウセセリなどが見られました。E区間は杉林の林縁であり、ヒメウラナミジャノメやコジャノメなどジャノメチョウの仲間が見られました。F区間は畑地もある場所で、モンシロチョウ、ヤマトシジミなどが観察できました。

2023年には、オナガアゲハ、ルリタテハ、ヒメアカタテハ、ジャノメチョウ、アサギマダラも記録でき、38種が記録できました。一方、2023年に記録できなかった蝶は、キアゲハ、アカシジミ、ウラナミアカシジミ、オオミドリシジミ、ミズイロオナガシジミ、ムラサキツバメ、クロマダラソテツシジミ、クロコノマチョウ、ツマキチョウ、コチャバネセセリ、イチモンジチョウ、ゴマダラチョウ、ヒオドシチョウ、の13種でした。10年間の合計では、51種が記録されたことになります。

鷹取山の年別記録数

(調査頻度 2014~2015年：月1回 2016~2023年：月2回)

	科・亜科	種名	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
1	アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	▼	○	◎	●	◎	◎	●	◎	●	●	
2		オナガアゲハ	△	△	×	△	△	×	×	×	×	△	
③		カラスアゲハ	△	▼	▼	●	◎	◎	◎	○	○	◎	
4		キアゲハ	△	×	△	△	△	×	△	×	×	×	
5		クローアゲハ	▼	△	●	▼	○	○	○	▼	○	▼	
6		ジャコウアゲハ	▼	○	○	●	◎	◎	◎	●	◎	◎	
7		ナガサキアゲハ	△	×	△	▼	▼	▼	△	△	△	▼	
8		ナミアゲハ	▼	▼	○	○	○	○	○	●	○	◎	
9		モンキアゲハ	▼	○	○	●	◎	◎	◎	●	◎	○	●
10	シジミチョウ科	アカシジミ	△	×	△	△	△	×	×	×	△	×	
11		ウラギンシジミ	△	▼	○	○	◎	○	▼	▼	▼	○	
12		ウラナミアカシジミ	×	△	×	△	×	×	×	×	×	×	
13		オオミドリシジミ	×	△	△	△	△	×	×	×	×	×	
14		ツバメシジミ	△	○	○	○	◎	●	●	◎	◎	◎	
15		ベニシジミ	△	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	
16		ミズイロオナガシジミ	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
17		ムラサキシジミ	×	△	▼	▼	○	▼	○	▼	▼	▼	
18		ヤマトシジミ	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19		ルリシジミ	○	▼	○	○	●	●	◎	●	◎	●	●
20		ウラナミシジミ	×	×	◎	◎	◎	●	◎	◎	●	●	●
21		ムラサキツバメ	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×
22	クロマダラソテツシジミ	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	
23	ジャノメチョウ亜科	コジャノメ	△	◎	○	○	○	◎	○	◎	●	○	
24		サトキマダラヒカゲ	▼	○	◎	◎	○	●	◎	○	○	▼	
25		ジャノメチョウ	×	△	▼	▼	△	×	×	△	△	△	
26		ヒカゲチョウ	▼	▼	○	○	○	◎	○	○	○	▼	
27		ヒメウラナミジャノメ	○	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●
28		ヒメジャノメ	△	▼	◎	◎	▼	▼	○	○	○	△	△
29		クロコノマチョウ	×	×	△	△	×	△	×	△	×	×	×
30	シロチョウ科	キタキチョウ	○	○	◎	◎	○	●	●	●	●	●	
31		スジグロシロチョウ	△	△	▼	▼	◎	▼	▼	▼	▼	○	
32		モンキチョウ	△	△	○	○	○	▼	▼	△	▼	▼	
33		モンシロチョウ	▼	▼	●	●	◎	◎	●	●	●	●	
34		ツマキチョウ	×	×	△	△	×	×	△	×	×	×	
35	セセリチョウ科	イチモンジセセリ	△	○	○	○	●	○	◎	◎	●	◎	
36		ダイミョウセセリ	▼	▼	○	○	○	◎	○	○	▼	▼	
37		チャバネセセリ	×	△	○	▼	○	▼	△	△	▼	▼	
38		キマダラセセリ	×	×	▼	▼	△	△	▼	▼	▼	△	
39		コチャバネセセリ	×	×	×	△	×	×	×	×	△	×	
40	タテハチョウ亜科	アカタテハ	△	△	▼	○	▼	▼	△	△	△	△	
41		アカボシゴマダラ	▼	△	○	◎	○	○	○	▼	○	○	
42		イチモンジチョウ	×	△	△	×	×	×	△	×	△	×	
43		コムシジ	▼	▼	○	◎	○	▼	○	○	○	◎	
44		ツマグロヒョウモン	○	○	●	●	●	◎	◎	◎	◎	●	
45		ヒオドシチョウ	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	
46		ルリタテハ	×	△	▼	▼	▼	△	△	×	△	△	
47		ゴマダラチョウ	×	×	△	△	△	×	△	△	△	▼	×
48		キタテハ	×	×	○	▼	○	▼	▼	▼	○	▼	
49		ヒメアカタテハ	×	×	×	△	×	△	×	×	△	△	
50	テングチョウ亜科	テングチョウ	△	×	△	▼	○	▼	△	○	▼	▼	
51	マダラチョウ亜科	アサギマダラ	△	×	×	×	△	×	×	×	△	△	

凡例 ×：なし △：1~3頭 ▼：4~10頭 ○：11~30頭 ◎：31~50頭 ●：51頭以上

なお、2023年も、調査とは別に、キアゲハ、アカシジミ、クロマダラソテツシジミ、クロコノマチョウ、ツマキチョウ、ゴマダラチョウの確認情報がありました。2023年は酷暑と尾根筋の乾燥化によって、植物への影響もあったと思われる。毎年の蝶類調査を継続することによ

って、環境の変化による蝶類への影響も把握できる可能性があります。

3. その他

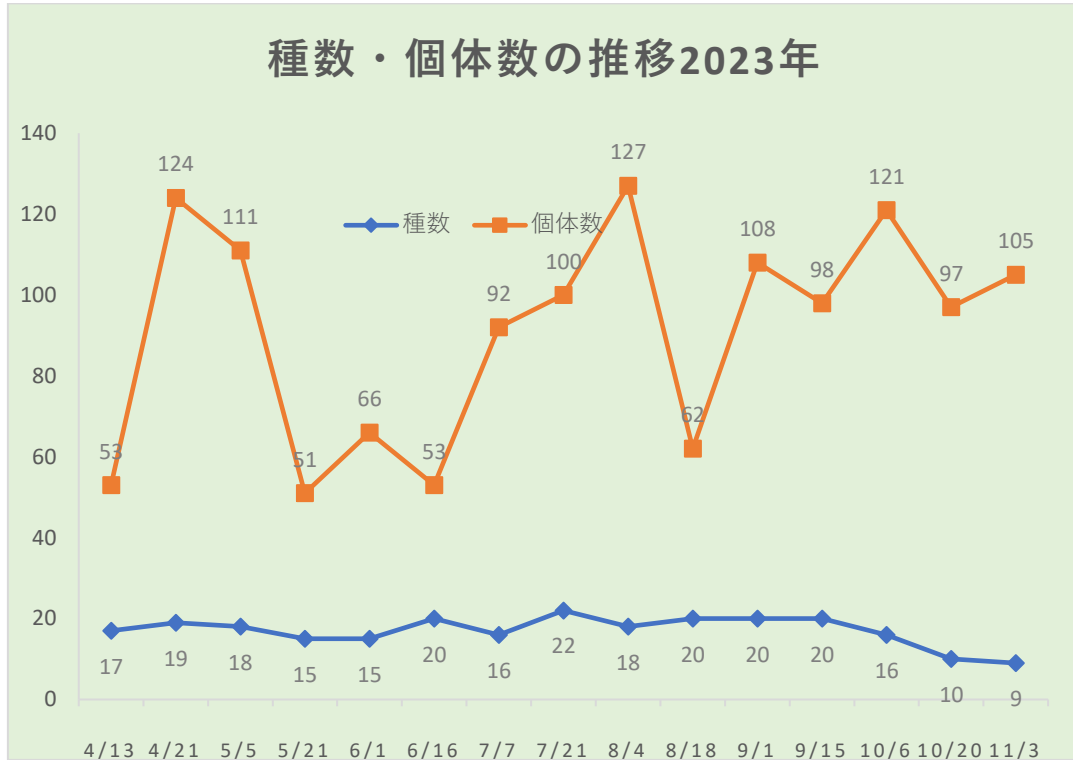
蝶類調査では、絶滅していく種やこの地域で新たに見つかる種を観察することもあるかもしれませんが。前述の博物館報告書による減少種の

うち、鷹取山自然観察会で10年間に記録されたものは、キアゲハ、ミズイロオナガシジミ、オオミドリシジミ、イチモンジチョウ、ジャノメチョウ、コチャバネセセリ、キマダラセセリ、ヒオドシチョウの8種になります。調査することは楽しみでもあり、調査を継続していくことによって、鷹取山周辺の蝶の生息状況がはっきりしてくると思います。

2023年調査に参加した人（鷹取山自然観察会）

本多久男、中村紀雄、金子龍次、伊沢昭司、大澤美恵子、星野節子、菅沼桂子、村上良二、弦間幸子、大塚千賀子、三科清高

（順不同、敬称略）



俳句

小島常義さんの俳句です。自然観察会に参加した折に作った俳句を投稿していただきました。その中から三句紹介します。

三月のテーマ
「早春の野草を探してみよう」

四月のテーマ
「春に咲く花を見つけよう」

五月のテーマ
「オトシブミを見つけよう」

草陰かくに隠るる春蘭見つけたり

野道ゆく狐の提灯並びをり

三月のテーマ
「早春の野草を探してみよう」

四月のテーマ
「春に咲く花を見つけよう」

五月のテーマ
「オトシブミを見つけよう」

※ 狐の提灯 || 宝鐸草 (ホウチャクソウ)

※ 棟 || 梅檀 (センダン)



モニ 1000 里地調査について（注意事項）

モニタリングサイト 1000 里地調査（以下モニ 1000 という）は、2005 年から環境省と日本自然保護協会（以下 NACS-J）が中心となって開始しました。日本の様々な生態系の動態を 100 年の長期にわたりモニタリングし、生態系及び生物多様性の保全を目的とした事業です。現在、全国約 203 ヶ所の一般サイトで、市民を主体とした調査を行っています。当会は第 3 期の途中 2016 年にサイト登録していて、神奈川県では 22 ヶ所、横須賀市では鷹取山と光の丘水辺公園、沢山池の里山の 3 ヶ所で行われています。

調査項目は、植物相、鳥類、中・大型哺乳類、水環境、カヤネズミ、カエル類、チョウ類、ホタル類、植生図の 9 項目で、当会では植物相、鳥類、チョウ類の調査をしています。

調査に参加される方は次の注意事項を守り、調査していただくようお願いします。

注意事項

1. 調査は会員が行い、連絡担当係の指示に従い、会員同士楽しく行ってください。
また、マナーを守り、公園管理者、民地地権者、ハイカーなどに迷惑のかかることは行わないでください。調査では、モニ 1000 の腕章を必ず着けること。
2. 調査に当たっては、植物相、蝶類、鳥類の各調査マニュアルを必ずご覧ください。調査マニュアルは NACS-J の web「モニタリング 1000 里地調査：マニュアル・調査票」を検索してください。
3. 調査員は、ケガなどしないよう服装、靴などに留意するとともに、体調不良の時は参加を見合わせるなど配慮してください。
万一、調査中にケガなどした場合は、ボランティア活動保険の手続きをとるので連絡担当者へ報告すること。参加される方はボランティア活動保険に必ず加入してください。
4. 調査日は連絡担当者が指定した日に行います。
 - (1) 植物相調査 通年第 2 金曜日
 - (2) 蝶類調査 4～11 月の間第 1、3 金曜日

- (3) 鳥類調査 越冬期として 12～3 月は原則第 1、3 金曜日、繁殖期として 5 月 6 月の第 4 金曜日、6 月第 2 火曜日

雨天の場合は次の日曜日に順延、更に水曜日に順延します。

5. 調査データの公表は、環境省などへの許可は必要としませんが、発表により貴重種、絶滅危惧種などが盗掘等に会う恐れなどあるため慎重に行うこと。原則として行政機関等外部への公表は鷹取山自然観察会として行います。
6. 調査データは、年 2 回 NACS-J へ提供する。また、年 1 回調査員名簿を提出します。
前期 1～7 月分 8 月末提出
後期 8～12 月分 翌 1 月末提出
7. 調査員は貴重種などの保護のため、調査で知り得たラン科、ユリ科などの調査結果を、第三者に口外しないこと。また、植物保護のため自然観察会では貴重種などの紹介はしないよう注意すること。なお、調査などで知り得たデータは会員で共有してください。
8. 各調査では、NACS-J との連絡係、同定係を配置し、記録係は持ち回りで行います。

植物相調査

（連絡係）本多（同定係）金子、小池

（記録係）持ち回り

蝶類調査

（連絡係）本多（同定係）三科

（記録係）持ち回り

鳥類調査

（連絡係）本多（同定係）北村、本多

（記録係）持ち回り

9. 調査は、鷹取山自然観察会会員で行う。ただし、会員の技術向上を図るため専門家を招待することもできます。
10. 2024. 3. 1 変更

鷹取山公園等での自然観察の里山づくり活動

当会では平成29年に下記のように「自然観察の里山づくりのための鷹取山公園等の利用について」横須賀市の承認を頂き、下記のような自然保護活動を続けています。鷹取山公園周辺ではケイワタバコの群落をはじめヤマユリ、センボンヤリなど貴重な植物相が多

くみられます。最近では貴重な草花が刈り取られ、盗掘などにより数を減らしています。このため、保護柵の設置や盗掘防止の看板などを設置しています。また、観察路の整備として階段の補修も定期的に行っています。

「自然観察の里山づくりのための鷹取山公園等の利用について」〈抜粋〉

1 目的

鷹取山自然観察会の活動は、子供から大人まで地域住民に鷹取山の自然環境の大切さを認識してもらうため、自然保護活動を呼びかけ、自然観察の里山づくりを目指していくものです。そのために、自然観察会の開催、樹木の名札かけ、野鳥の巣箱づくり、自然観察ガイドの作成、鷹取山の生きもの調査などの活動を行い、鷹取山の自然保護を行います。また、ケイワタバコなど貴重な植物相の保全を行っていきます。

2 利用の範囲

鷹取山公園

湘南鷹取2丁目都市林

湘南鷹取3丁目都市林

湘南鷹取4丁目都市林

3 鷹取山公園等での自然観察の里山づくり活動

1の目的を達成するため次の活動を行います。

- (1) 鷹取山周辺での自然観察活動
- (2) 植物相調査、野鳥調査、蝶類調査
- (3) 巣箱、樹木板の設置
- (4) 掲示板による季節の自然情報の発信
- (5) 貴重種の保護を目的とした看板、柵の設置
- (6) 貴重種の保全を目的とした植物相の調整
- (7) その他、自然観察の里山づくりに資する活動



階段の整備 2023. 12. 22



貴重種保護の草刈り 2024. 1. 26

当会では在来生物と貴重種の保護を目的に定期的に活動をしていきますので、皆様のご協力をお願いします。



自然観察会の報告

12月10日(日)	落ち葉の種類を見分けよう	追浜駅集合	会員12人、非会員9人、計21人
1月14日(日)	冬を越す樹木とロゼットを観察しよう	追浜駅集合	会員8人、非会員3人 計11人
2月11日(日)	冬鳥の観察と冬芽を観察してみよう	京急田浦駅集合	会員13人、非会員7人 計20人

モニタリング1000 里地調査の報告

植物相調査	12月8日(金)	快晴 13°C	参加10人	
	1月12日(金)	快晴 7°C	参加12人	
	2月9日(金)	晴	参加10人	

鳥類調査	12月1日(金)	晴	参加9人	12種 83羽	
	12月17日(日)	晴	参加7人	11種 81羽	
	1月5日(金)	晴	参加8人	12種 82羽	
	1月19日(金)	晴	参加8人	13種 66羽	
	2月2日(金)	曇	参加9人	14種 88羽	
	2月16日(金)	晴	参加7人	12種 54羽	

モニタリング1000 里地調査の予定

植物相調査	3月8日(金)	鷹取山公園東屋 10時集合	鳥類調査	3月1日(金)、15日(金)	西友鷹取店前 3月は9時30分 集合、5、6月は 6時30分集合
	4月12日(金)			5月24日(金)、	
	5月10日(金)			6月4日(火)、28日(金)	
	6月14日(金)				

蝶類調査	4月5日(金)、19日(金)	鷹取山公園東屋 10時集合
	5月3日(金)、17日(金)	
	6月7日(金)、21日(金)	

自然観察会の延期は翌週日曜日です。モニ1000調査の雨天延期の場合は日曜日、更に水曜日となります。

当会では不定期ですが、会員有志で階段の整備、植樹場所の手入れ、貴重植物の保護のため保護柵の整備など行っています。主旨賛同される方は、参加ください。

10年間のチョウ類調査データ

2016年からのモニ1000チョウ類調査に先立つ2014年、2015年にも、モニ1000に

準じた調査が行われています。通算すると、鷹取山では10年間のチョウ類調査のデータが蓄積されて

きたこととなります。このデータに基づいて様々なことが見えてきます。まずは、鷹取山で良く見られるチョウを調べてみます。方法は、チョウの種別に10年間の記録数を合計し、多い方から上位10種を選びます。ただし、秋口に移動してくるウラナミシジミとイチモンジセセリは番外扱いにします。

順位	種名	10年計
1	ヤマトシジミ	1,961
2	ヒメウラナミジャノメ	1,705
3	ルリシジミ	520
4	モンシロチョウ	512
5	キタキチョウ	506
6	アオスジアゲハ	436
7	ツマグロヒョウモン	428
8	ツバメシジミ	409
9	ジャコウアゲハ	390
10	モンキアゲハ	371

なお、10年間の記録数合計は、チョウ類調査で記録された全51種について算出しています。ちなみに、番外扱いとしたウラナミシジミは448、イチモンジセセリは432でした。

これら上位10種のチョウの食草からも、鷹取山の多様な植物相が想像できます。順に、カタバミの葉、チジミザサ等の葉、マメ科植物等の花や蕾、キャベツ等アブラナ科の葉、ハギやネムノキ等の葉、タブノキ等の葉、スマレ科植物の葉、シロツメクサ等の葉、オオバウマノスズクサ等の葉、カラスザンショウ等の葉が、それぞれのチョウの食草です。

今、地球規模の昆虫減少が懸念されています。ナショジオでも取り上げられ、「サイレント・アース（デイヴ・グールソン）」などの本も出ました。鷹取山でも昆虫の減少が心配になります。10年間のチョウ類調査から、何かわかることはあるのでしょうか。上記の10種のチョウの年別数を合計してみました。特別な傾向は見つかりませんでした。

2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
123	214	627	984	808
2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
836	959	984	813	890

一方、日本固有種のカガキチョウについては、減少傾向が出て来たのかもしれませんが。

2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
6	5	13	57	28
2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
45	29	17	14	8

カガキチョウの食草はタケ、ササ類ですが、鷹取山周辺ではアズマネザサが、まだ豊富にあるように思われます。成虫は樹液を吸いますので、これは減少している可能性があります。食性が似ているサトキマダラヒカゲには、あまりはつきりした傾向は見られません。

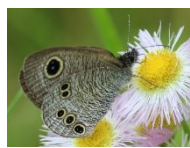
2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
4	21	34	20	28
2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
53	42	12	23	9

カガキチョウは幼虫で越冬し、サトキマダラヒカゲは蛹で越冬するという違いが関係しているのかもしれませんが。今後も調査を継続していく中で、何かわかるのかもしれませんが。しかし、はっきりしてからでは、もう手遅れという心配もあります。植生などの環境の変化には、人の活動も影響します。人為的な環境の変化には、慎重でありたいものです。

多くの方が様々な活動を楽しむ鷹取山では、善意による過度の草刈りや伐採も良く見られます。仲間のために良かれとする利他性、命までかける利他性は、人間だけに見られる特性です。その利他性は、協力し、慈しみ合う気持ちを呼び起こすオキシトシンの働きによることがわかってきました。それは仲間のために命を懸ける戦争にまで繋がってしまいます。オキシトシンの二面性には気を付けなければいけません。かぶれの元のツタウルシが駆除されるように、人に害を与える毒のある生物は駆除すべきだと考える人たちもいます。身近な自然に親しむようになれば、多様な生き物を育む自然に対し、謙虚な気持ちを抱くようになるのではないのでしょうか。チョウ類調査に参加して下さる会員の皆様に感謝しながら、これからも、皆様と楽しくチョウ類調査を続けて行ければ良いと思います。（三科 清高）



ヤマトシジミ



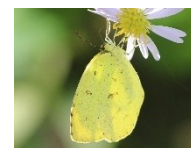
ヒメウラミジャノメ



ルリシジミ



モンシロチョウ



キタキチョウ



カガキチョウ



アオスジアゲハ



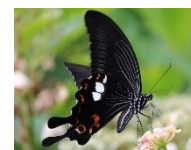
ツマグロヒョウモン



ツバメシジミ



ジャコウアゲハ



モンキアゲハ



サトキマダラヒカゲ

鷹取山自然観察会のご案内

2024年度自然観察会の予定

鷹取山自然観察会では、自然とのふれあいを大切にして季節ごとの様々な生き物を観察しています。日程は表のとおりです。初めての方もお気軽にご参加ください。

日 程	観察会のテーマ	集合場所
4月14日(日)	春に咲く花を見つけよう	京急田浦駅
5月12日(日)	オトシブミを見つけよう	追浜駅
6月2日(日)	初夏に咲く花を観察しよう	神武寺駅
7月14日(日)	蝶とその食草を探してみよう	追浜駅
8月4日(日)	セミやバッタの観察をしてみよう	京急田浦駅
9月8日(日)	鷹取山の秋の七草は何でしょう	追浜駅
10月13日(日)	コオロギなど鳴く虫を探してみよう	追浜駅
11月10日(日)	野菊の違いを観察しよう	京急田浦駅
12月8日(日)	落ち葉の種類を見分けよう	追浜駅
1月12日(日)	冬を越す樹木とロゼットを観察しよう	追浜駅
2月9日(日)	冬鳥の観察と冬芽を観察してみよう	京急田浦駅
3月9日(日)	早春の野草を探してみよう	追浜駅

注) 観察会のテーマは変更する場合があります。直近の情報をご確認ください。

- ◆集合場所：集合場所駅改札出口9時20分集合30分出発
観察会は12時までで現地解散小雨は決行。大雨の場合は翌週の日曜日に延期します。(延期の場合は朝7時までメールで連絡します。)
- ◆参加費：会員100円、非会員200円(保険料・資料代)小学生100円、未就学無料
- ◆定員：20人、先着順
- ◆申込方法：住所、氏名、電話番号(保険加入のため)メールアドレスを記入して、下記のアドレスまで申し込みください。小中学生は学年をお知らせください。
- ◆持ち物：歩きやすい服装、メモ帳、鉛筆、飲み物、あれば虫眼鏡及び双眼鏡
- ◆注意事項：コースの途中には坂道、足場の悪い場所もあるため滑りにくい靴で参加下さい。当日、体調が悪い場合は、参加は見合わせてください。
- ◆主催：鷹取山自然観察会

《問い合わせ・申込み先》

メールアドレス takatori_0721@nifty.com

HP「鷹取山自然観察会」から申込できます。

電話：090(4177)0164

